

TOTO

ウォシュレット一体形便器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前にこの「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。
--	------------------	--	---------------------

⚠️ 注意	
	陶器に衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財を汚す原因になることがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する

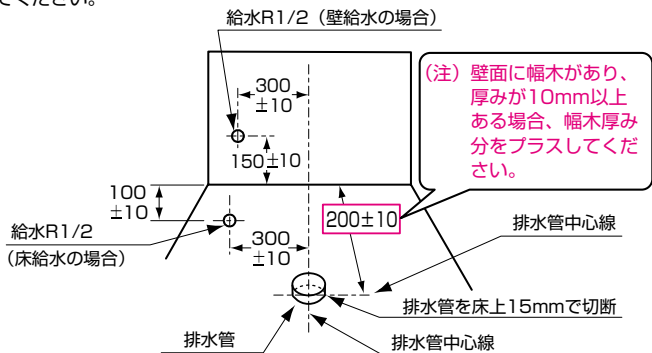
2 部品の確認

※部品があるか、下表を参照して確認してください。

名称	個数	略図	備考
便器	1個		質量：30kg
排水ソケット本体 (ゴムジョイント付き)	1個		
六角ボルト	2個		
止め金具	2個		
ナット	2個		
座金 (排水ソケット用)	2個		
木ねじ (排水ソケット用)	5個		十字穴付きタッピンねじ トラス 4種 6×40 ※4個使用
固定片	1個		
皿木ねじ	1個		十字穴付き皿木ねじ 5.8×56
座金 (固定片用)	2個		
木ねじ (固定片用)	2個		十字穴付きタッピンねじ ナベ 4種 6×50
施工説明書	1枚	本紙	
施工用型紙	1枚		
分岐カバー (なべ小ねじ付き)	1個		
化粧キャップ			
化粧キャップ (前)	1個		
化粧キャップ (後)	2個		
給水接続部			
止水栓	1個		
給水ホース (パッキン付き)	1個		
クイックファスナー	1個		組み立て済み

3 取り付け前のご注意

- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。便器先端から400mm以上の空間を確保してください。
※室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。(壁が変色する原因になります)
- 施工前に、給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置にあることを確認してください。



■設置前に水压を測定ください。

最低必要水压：0.07MPa (20L/min流動時) が必要です。この水压を確保できないと汚物を排出しないことがありますので注意してください。最高水压は0.75MPaです。
注1：洗面所や浴室など他の水栓器具を同時に使用したときも、上記水压と流量が必要です。
注2：配管は呼び径13以上をご使用ください。(上記水压と流量の確保のため)

<バケツによる簡易測定方法>

[測定要領]



下表の水量があれば最低必要水压は確保できています。

止水栓のタイプ	水量(10秒間)
本商品同梱の止水栓	5.5L以上
ロータンク用止水栓 (壁給水)	4.5L以上
ロータンク用止水栓 (床給水)	4.0L以上

<水压測定専用治具による測定方法>

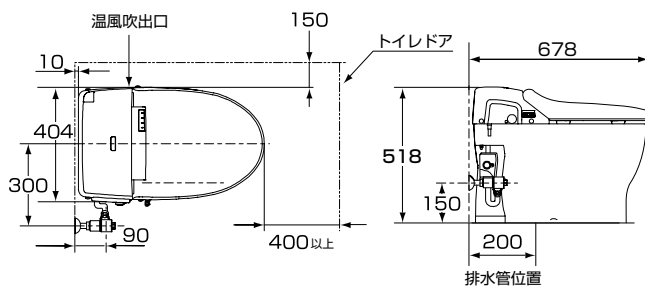
HH15003 (希望小売価格 ¥5,250【税込¥5,512】) を利用する。(HH15003に止水栓は含まれておりません)

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

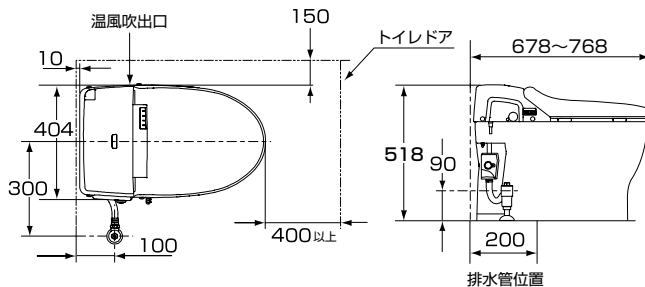


商品セット図

施工完了図 (壁給水タイプの場合)



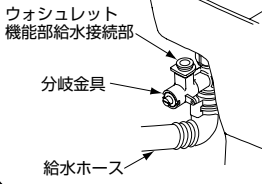
施工完了図 (床給水タイプの場合)



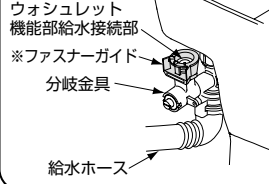
4 各部の名称と施工のポイント

※製造時期によって分岐金具にファスナーガイドがある場合とない場合があります。

ファスナーガイドがない場合



ファスナーガイドがある場合

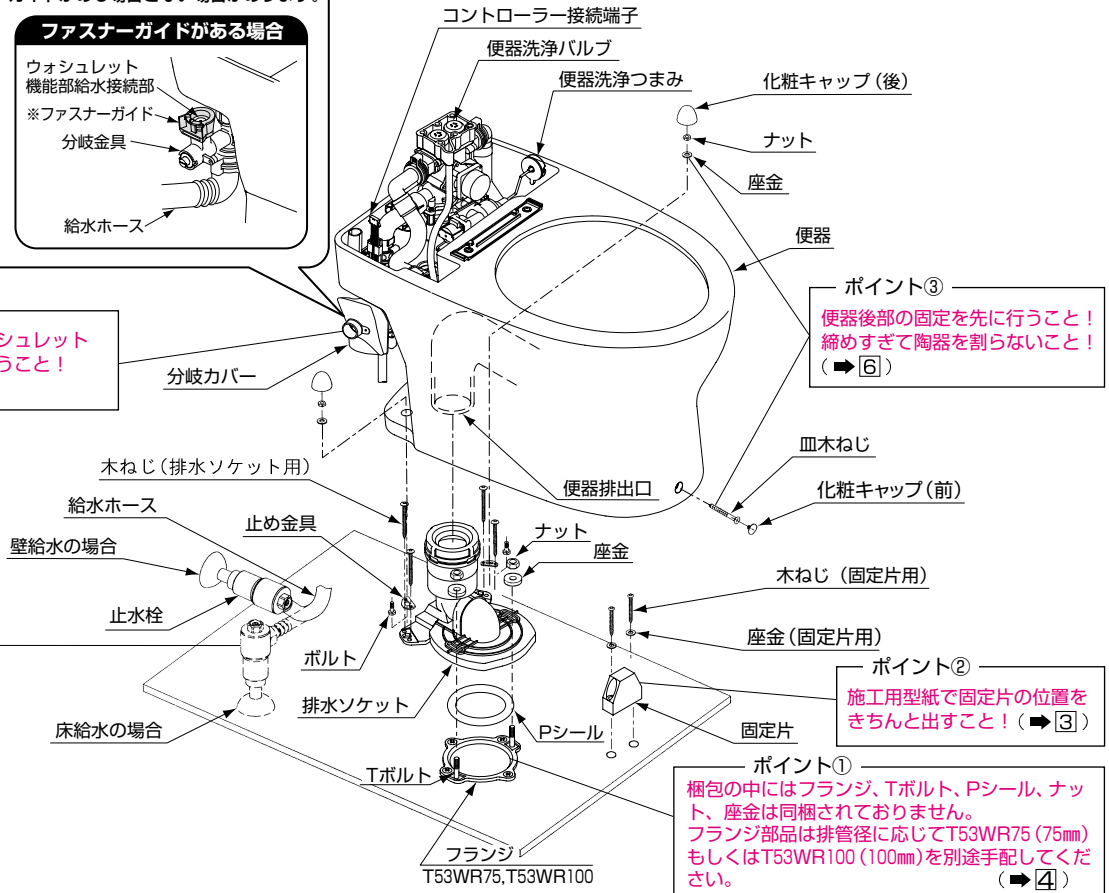


ポイント④

分岐カバーの取り付けはウォシュレット機能部を取り付けたあとに行うこと！
(➡⑧⑨)

ポイント⑤

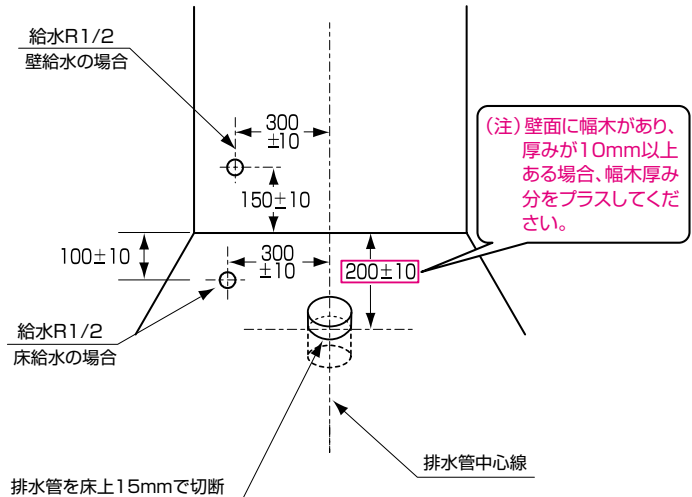
止水栓の取付角度に注意すること！
(➡②)



5 施工要領

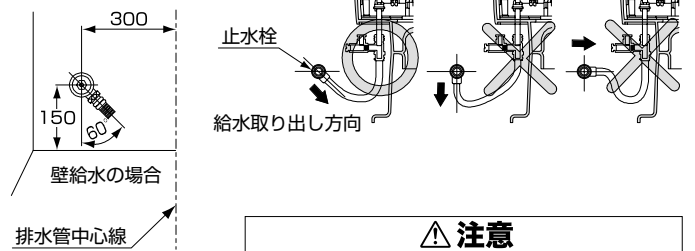
① 給・排水管の取り出し

- ①給・排水管を所定の位置に取り出す。
- ②排水管のセンターを出して、床面に便器中心線をけがく。



② 止水栓の取り付け

- 止水栓を所定の位置に取り付ける。



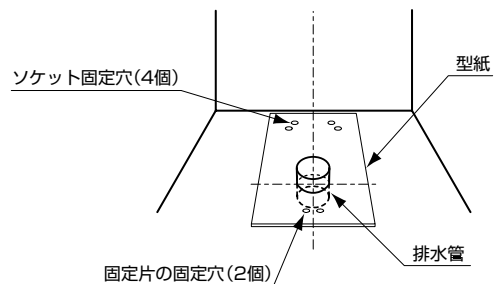
⚠ 注意



壁給水の場合、止水栓の給水取り出し方向は、下向の60°便器側向とする
誤った方向に取り付けると給水ホースの折れ曲がりが発生し洗浄不良や水漏れのおそれがあります。

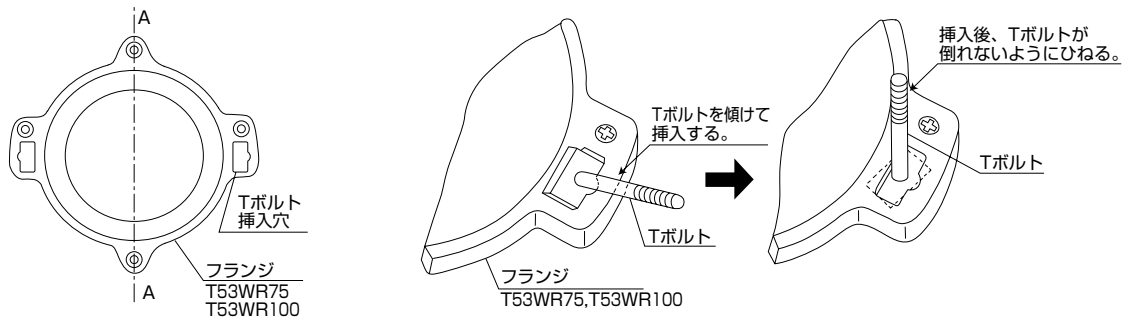
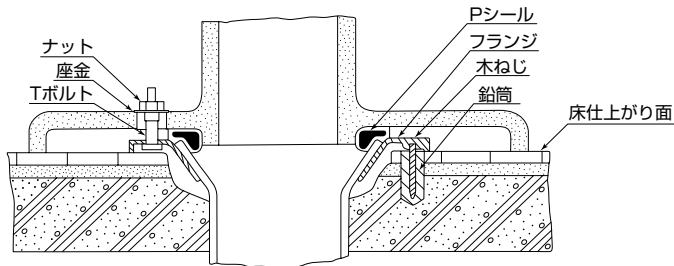
③ 型紙で固定穴位置をけがく

- ①型紙を排水管の中心線に合わせて床面に置く。
- ②排水ソケットおよび固定片の取付位置をけがく。



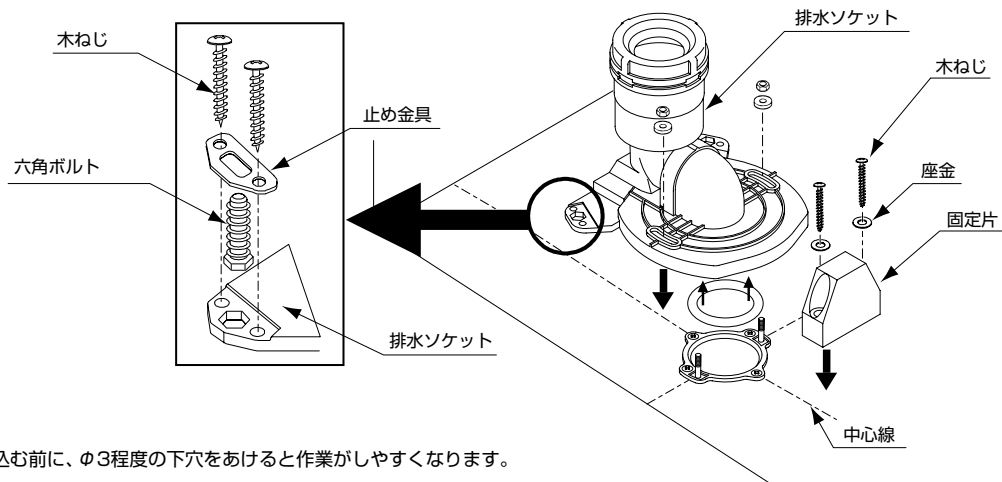
④ 排水ソケットの接着

- ①床仕上げ後、排水管の位置が正しいか確かめてから、フランジのテーパ部分が床の中に入るよう排水管周囲をはつる。
- ②フランジを排水管に差し込み、図A-Aの点を便器中心線上に合わせて木ねじで床に固定する。なお、固定が不十分だと便器がガタつく原因となる。
- ③排水管を床フランジのテーパ面に合わせ、床フランジの上部まで十分に広げる。広げた鉛筒の上端を床フランジにハンダ付けする方法がより理想的。
- ④フランジにTボルトを挿入してソケットを仮据えし、木ねじの位置をあたり、処理しておく。



⑤ 固定片・排水ソケットの取り付け

- ①排水ソケット後固定部は所定の位置に六角ボルトを立て、六角ボルトに止め金具を通したうえで、木ねじで床に固定する。
- ②排水ソケット排出口外周のごみや水分を取り除き、Pシールをはめ、ソケットを所定の位置に据え、ナットおよび取付用木ねじを締め付けて固定する。
なお、Tボルトや取付用木ねじを強く締めすぎてソケットを割らないよう注意する。
- ③固定片を所定の位置に、木ねじで床に固定する。



- ※床にねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。
- ※座金を入れて確実に木ねじを締めてください。

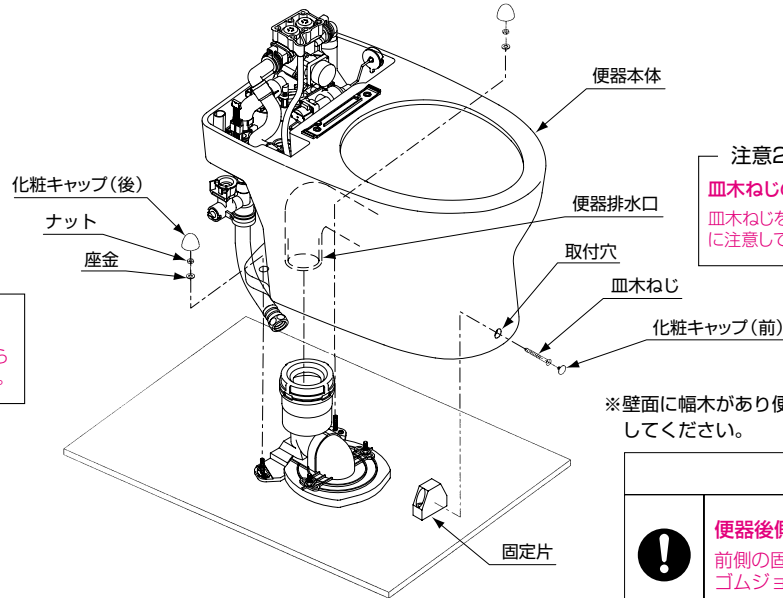
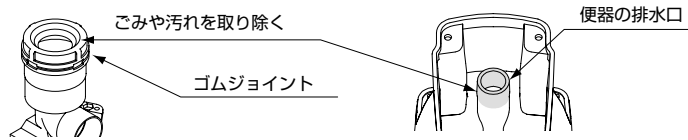
⚠ 注意



排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む
 確実にはめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

6 便器の取り付け

- ①便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除き排水口を排水ソケットに差し込む。
- ②便器後側の取付穴（2カ所）を、座金・ナットで排水ソケットに固定し化粧キャップを取り付ける。
- ③便器前側の取付穴に皿木ねじを差し込み固定片に便器を固定し、ねじの頭に化粧キャップを差し込む。



注意1

ナットを確実に締めること
ナットを締めすぎて便器を割らないように注意してください。

注意2

皿木ねじの増し締めは必ず手締めのこと
皿木ねじを締めすぎて便器を割らないように注意してください。

※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

注意



便器後側の固定を必ず先に行う

前側の固定を先に行うと便器が後方へスライドし、ゴムジョイント部から水漏れするおそれがあります。

7 給水ホースの取り付け

- 給水ホースの袋ナットにパッキンを入れて止水栓に固定する。

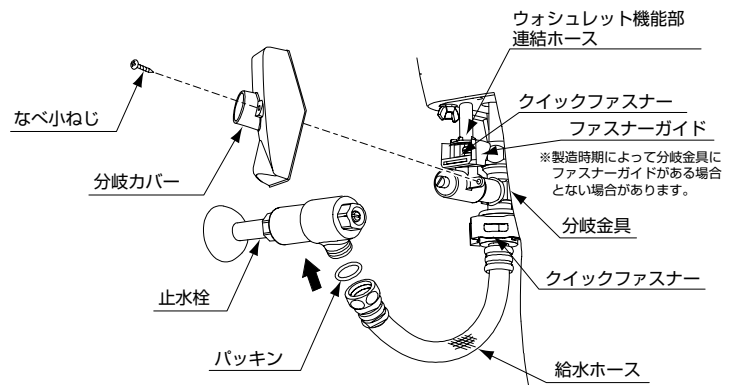
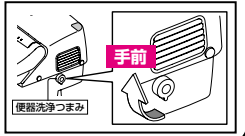
8 ウォシュレット機能部の取り付け・試運転

- ウォシュレット機能部同梱の施工説明書を参照のこと。

注意

初回通水確認時、「便器洗浄つまみ」にて確認する際は、必ず「手前」（リム側）から回すこと。

初めに「奥側」から回すと、配管内の空気の影響で水が止まらなくなるおそれがあります。



※図は左給水を示しています。右給水の場合は逆になります。

9 分岐カバーの取り付け

- 試運転確認後、分岐カバーを取り付ける。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

- 便器下部と床のすき間に水や小水が入り込みますと、床シミの原因となりますので、便器床接地部周囲に防カビ性の透明シリコンシール剤を塗布し水や小水の浸入を防止することをおすすめいたします。

